

Monthly Repo. ならやま

徳地 恵男

10月22日(木) 活動 曇り 76名

実習生5名 近大生4名 大学生1名

天候が心配されたが、稲刈りが実施される。佐保台小学校5年生28名の貴重な体験の場となる。朝の打ち合せで「山もり・てんこ森」の報告とお礼の言葉がある。里山Gは景観Gと合同で佐保自然の森の木の伐採、下草刈りをして一気に作業ははかどる。エコGは午前中稲刈り、午後はダイコン、小松菜の間引きと施肥をする。ビオ班は水路周辺の草刈り、花班は春に咲く花の種まき、コスモスの撤去をする。パトGは観察路尾根道の草刈り、BCの階段補修をする。果樹Gは実りの森の除草を行う。併せて午後プロジェクト委員会を開く。

10月24日(土) イベント 晴れ 19名

佐保台小72名(子供31名 保護者41)

会員家族22名(子供11 保護者11)

秋晴れの下、恒例の芋掘りイベントが実施される。佐保台小と家族会員が多数集まり、一大家族5株を力合わせて収穫する。あちこちで歓声が上がリ、エコGの苦勞が報われる日となる。

10月29日(木) 活動 晴れ 86名

実習生1名 近大生3名

里山Gは景観Gと共に佐保自然の森の整備、午後はミーティングの時間をとる。エコGは稲の脱穀作業を行い小学校5年生も体験する。ビオ班は近大生と共に水生生物調査、花班は山野草園の草取りをする。パトGは観察路の整備、果樹Gは実りの森B地区の整備を行う。



11月5日(木) 活動 晴れ 83名

近大生2名

協働作業日として佐保自然の森の竹林整備に大勢が参加する。刈り取った枝や笹をみんなで一定の場所に集める。暗かった竹林は光が差し込み、見通しがよくなる。同時に水路整備が完了した緑陰広場へ軽トラで真砂土を何度も運び込む。お昼になる。今日から待望の汁物が賄い



当番により用意される。秋空の下、みんなでいただく味噌汁に思わず「うまい」の声がもれる。

午後からは各グループの活動に入り、予定した作業を進めていく。

11月12日(木) 活動 晴れ 84名

実習生1名

秋が深まり活動に最適の時期到来。各グループの作業が進む。今週からパトGを中心に展望広場の整備に着手する。里山Gと景観Gは前週に引き続き佐保自然の森の整備、クラブ・ユートピアは実験区の下草刈りを行う。エコGは冬野菜の移植と間引き、コカブ、ネギ、菊芋等の収穫を行う。ビオ班は水路の草刈り、花班はチューリップ球根の植え付けを終える。果樹Gはタイサンボクの植樹と柑橘類への施肥を行う。

11月19日(木) 活動 晴れ 79名

実習生1名 近大生1名

汗ばむ一日となる。朝の打合せでは今年初めてとなる月例研修会、歴文クラブの催しの案内がある。里山Gは今週からシイタケ栽培用の榎木コナラの伐採を始める。エコGは秋野菜の収穫、畑にチップ入れをする。午後からは作業と並行してプロジェクト委員会を実施する。